

# セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2021.2 No.202

今月のピックアップ

特集●

「用水路が運ぶ 恵みと平和」  
～中村哲さんからのメッセージ～

キラリ世田谷人 ● 中澤 まゆみさん

干し柿づくりレポート



イラストレーション●大内 麻利子  
絵画造形教室主宰 アートセラピスト  
下北沢と三軒茶屋で子どもたちがのびのび表現できる絵画教室を行っています。  
「アトリエ木のね2号店」Instagram  
@ atelier\_kinone2\_setagaya

●わたしの世田谷

世田谷は素敵なお店やほっとできるカフェがあったり、自然豊かな所も好きです。街中で子どもたちの楽しそうな笑い声が聞こえてくると、ほっこりします。

# 「用水路が運ぶ 恵みと平和」 ～中村哲さんからのメッセージ～

2019年12月4日、医師の中村哲さんが長年活動していたアフガニスタンで銃撃されて亡くなって、およそ1年。昨年11月29日、「世田谷ボランティア協会」をささえる会」の年中行事の一つである「映画とワインの集い」が、ようやく開催されました。二度の延期の原因にもなった新型コロナウイルス感染症。人のいのちの大切さがことさらに身にしみる今。中村さんが全身全霊で私たちに伝えてきたことを今一度かみしめたいと思います。



飢えは薬では治せない

三密を避けるため、今回は1日3回上映、一回の定員を20人としました。いつもは、栃木県足利市にある「こころみ学園」が製造するココファームのワインと手作りの料理を供する「お楽しみ」プログラムですが、今回は映画のみ。それでも合計で50人以上の参加者がありました。上映した映画は「アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和」（ペシヤワール会企画。日本電波社製作）。本編「緑の大地計画の記録」、技術編「PMSの灌漑方式」から成ります。ここで少し、映画で描かれていたことをおさらいしてみます。

中村哲さんは医師。1984年以降、パキスタン西北部、アフガニスタン東部で医療活動を続けてきましたが、大勢の子どもや老人が瀕死の状態で病院に担ぎ込まれていることに医師として異常を感じます。病気の原因は、多くの井

戸が干ばつで涸れ、食糧不足、衛生環境が悪化していたことでした。水がないから農業ができず、1200万人分の食料が不足し、400万人が飢餓線上にありました。

そこで「飢えや渇きは薬では治せない」と、医者が井戸を掘り、1600箇所井戸を作りました。食料不足に加えて、経済制裁等により、500万人の難民が発生しました。中村さんは日本に帰って講演などで食料支援を必死に呼びかけ、一ヶ月で2億円の寄付が集まりました。その寄付で買った1800トンの油や小麦粉は、一家庭あたり3ヶ月分の食料となりました。

緑が戻り、農業が再開される

「緑の大地計画」では、「PMS（平和医療団・日本）のスタッフと日本人ボランティアによる水路建設にアフガニスタンの未来が

かかっている」とし、クナール川から水を引く建設工事を2003年に開始します。シャベル、ツルハシによる作業を行う現地の人には日当240円が払われます。水路の名前はアーベ・マルワリード（真珠の水）。

用水路にクナール川の水をどう取り込むか、という難題を解く鍵を探しに、中村さんは故郷の福岡県の朝倉市を訪れます。中村さんがじっと見つめる山田堰は江戸時



(上) 用水路の入り口、柳を植える。近隣の集落からも、用水路の建設、修復の要望があり、伝統工法によるPMS方式で建設された9つの用水路が、1600ヘクタール、60万人のいのちをささえることになりました。中村さんは言い

代から200年以上にわたり、地域の農業を支え続けています。これを地元の巨石を使ってアフガニスタンに再現させよう、というのが中村さんのアイディアでした。そして、工事開始から一年経ち、クナール川の水が静かに用水路に入ってきます。

農民が村に戻り、農業が再開されました。着工から4年、13キロメートルの水路が6万人のいのちを支えます。水路と同時にモスク（イスラム教寺院）と学校（マドラサ）を建設し、文化の違いを尊重する姿勢で臨みます。

市場が再開され、失われていた暮らし、そして平和が戻ってきました。「人は仕事をしていれば戦争のことは考えない。お腹がいっぱいになれば戦争には行かない」と、畑仕事の合間に家族で食事をする男性は語ります。

大洪水が起った時もマルワリード用水路は持ちこたえ、伝統工法の確かさを印象付けることになりました。25000平方メートルの連続斜め堰が対岸の村をつなぐと、難民たちが村に戻り、村人たちの関係も変化します。集合して泥を掻き出すという共同作業を通じて協力関係が生まれるのです。

「水や金もない。しかし大事なものは生きることです。必要なのは武器や兵器ではない。だから支援を続けて行くのです」

水が村人たちをつなぐ

とは、平和で安心して暮らすことです。武力ではなく、こういうことが国を回復することになるというのが大事です。三度三度のご飯が食べられ、家族がふるさとして暮らせ、自分でやればできることがわかる」

## 日本の人たちが大事業を支える

2014年、760万人の食料不足との警告が国連から発せられ、アフガニスタン政府はPMS計画を全土に広めようという計画を立てます。

映画は「日本にいる私たちにできることは？」と問い、それを考えるヒントとして中村医師の言葉を紹介しています。「巷ではテロや空爆、難民の噂が絶えませんが、私たちは『対テロ戦争』などというおぞましい戦列には加わりません。それこそが果てしない暴力の応酬を生み出してきたからです」。武器や兵器による協力ではなく、

日本の人々がPMSの大きいなる事業を支援しようと寄せた20億円の費用がまかなわれています。

「水が善人、悪人を区別しないように、誰とでも協力し、世界がどうなるうと他所に逃れようのない人々が人間らしく生きられるよう、ここで力を尽くします。内外で暗い争いが頻発する今こそ、この灯りを絶やしてはならないと思います」という中村さんの決意が観る人に響いたことでしょう。

## 伝統工法の確かさ

「PMSの灌漑方式」は、伝統的な工法が1600ヘクタールの土地、60万人のいのちをささえることになった9つの水路の建設を大いに助けたことを描く、とても感動的な映画です。医師である中村さんが、さながら土木技師として、工事を主導するのですが、ヒントになったのは、ふるさとで

ある福岡で見た朝倉の山田堰。先人の試行錯誤による知恵を活かします。

「自然よりも人間は後からきたお客さん。自然に合わせないといけない」と中村さん。堰だけでなく、※蛇籠じょうろうに柳の苗を植える「柳枝工」。蛇籠と大地が一体化し、コンクリートに勝る強さが得られます。

また、朝倉の三連水車にならった水車で20ヘクタールの畑が潤いました。そして植林。2009年から苗木を一本ずつ植え、水やりをし、20万本が育つまでになりました。「自然に戻る、自然と仲良くする。食べ物をつくる試みは人類が絶えるまで続く。争い事、武器で儲けるのとは正反対なこの道が、滅亡への道を避けることができるのです」

現地ワーカーのお話と、

さだまさしさんの歌と・・・

※蛇籠（じゃかご）・・・竹材や鉄線で編んだ長い籠に碎石を詰め込んだもので、河川の護岸や斜面の補強などに使用する。



横山ワーカーと現地のアフガニスタン人

当日の上映会では、2回目と3回目の間に、中村さんのもとでワーカーとしてボランティア作業を経験された横山尚祐さんのお話を伺う機会を持ちました。横山さんは2005年〜2007年に現地赴任し、コンクリート構造物と植樹の担当をされました。現在都内の大学病院で神経内科医として働いておられます。

横山さんは、9・11の同時多発テロの日、19歳で海外から飛

行機で帰ってきました。その時、衝撃を受け、戦争が身近に感じられました。半年後アメリカを旅行し、アメリカが正義でアフガンが悪者という描かれ方に疑問を持ち、アフガニスタンはどうなっているんだろう、と気になりました。

お祖母様がペシャワール会の会員だったこともあり、「爆破は平和のために使った方がいい」と考え、2005年に現地へ赴きました。

予想以上に厳しい現状に「とんでもないところに来た。とにかく与えられた仕事をこなさないとやばいぞ」と必死でした。実際は「さぼる現地人にビックリ」とは、聞いている私たちも思わず苦笑。

おだやかに迎えてくださった中村先生、どんな方だったのでしよう。「思い出すのは砂煙にシヤベルを持って突進していく姿」そして、「行動しないで口だけっていうのを一番嫌っていた」とも。

現地の若い日本人ボランティア

に、先生は若き日に大変感銘を受けたという、内村鑑三の「後世への最大遺物」を「熟読するように」と渡されたのだそうです。横山さんも、中村哲さんの人となりに接する中から、帰国後、医学部を再受験することになったのでしよう。

上映後は毎回「サブライズ」さだまさしさんが作った中村さんを追悼する歌「ひと粒の麦」をユーチューブで紹介したのです。

薬で貧しさは治せない

武器で平和を買うことは出来ないけれど決して諦めてはならない  
いつか必ず来るその時まで  
私に出来ることを為せば良い  
私に出来るだけのことを

「もし道に倒れている人がいたら手を差し伸べる。それは普通のことです」と語ったという中村さんの言葉を、私たちへのメッセージと受け継いでいかななくてはと思ったことでした。

(取材／編集委員 星野 弥生)



みんなが平場で話せる社会に  
中澤 まゆみさん  
なかざわ

# や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵なたを  
ご紹介しします  
取材●市川 徹

み入れることにな  
りました。

2009年、区  
民・事業者・行政  
の協働により福祉  
施策の提案と実践  
を目指す「せたが  
や福祉100人委

中澤まゆみさんはライターで、介護をテーマにした多数の著書が執筆されています。今でこそ介護が専門ですが、もとは編集者で最初の経歴は、それとは関係ない音楽業界でした。当初は雑誌社に勤めていましたが、このままでいいのかと考え独立。その後はフリーランスとして活動を続けます。

2002年頃に友人の住む世田谷に転居。しかし、その友人が認知症になり、身寄りがなかったことから、中澤さんが介護のキーパーソンをすることになります。これをきっかけに、認知症や介護保険のことを調べたり、よい病院を探したりと、介護業界に足を踏

「委員会」の立ち上げに参加、世話人として関わります。ここでの活動を通じて多くの人とのつながりができましたが、中澤さんは「世田谷にはこんな人材がいるが、つながっていないのがもったいない」と感じるようになったそう。

その後も在宅ケアについての取材を続け、賛同する人たちとともに2014年に「ケアコミュニティセタカフェ」を立ち上げ。これは、分野を問わず飲食と講座を毎月行いながら平場で人をつなげることを目的に始めたものです。

さらに2018年には、「せたがや居場所サミット」を企画し、福祉や子育てなどの分野を取

り払い、全世代がつながることを目指した結果、約60団体が一堂に会して交流する大きなイベントになりました。

中澤さんは「みんなが平場で話せる社会になるといい」と言います。きちんとしたセーフティネットがあつて苦しむ人がいない社会が理想。そのためには、福祉を自分事を感じてもらおうよう市民の意識を変える必要があるし、行政も重い扉を叩き続けないと制度がよいものにならないと。人とつながるといろいろなアクションのアイデアが出てくるのが楽しいそう。

2020年はコロナであらゆるイベントが中止になってしまいました。しかし、中澤さんは、感染症はどこでも起こりうるもの、逆に考えればみんなが平場で話ができるチャンスと前向きに捉えています。お話を聞いていて、積極的・前向きに行動すること、人とつながることの大切さを感じました。

## 干し柿づくりレポート



柿を干している写真。1ヵ月ほどセンターの入り口で干します。近所の方が、様子を見に来て出来上りがを楽しみに待ちます。

『世田谷ボランティア協会』をささげる会』では、会員同士の親睦を深め、またボランティア活動に関心を持っていただこうと、さまざまなイベントを「年中行事」として催しています。秋の定番は「干し柿づくり」。これがハンパではない、超本格的なのです。

まずは稲の藁を入手することから。今回は信州で無農薬のお米を作っている友人の田んぼのものを使わせてもらいました。湿らせ、碇<sup>きめだ</sup>で叩いた藁で柿を吊るす縄

をないます。初心者に対して丁寧な指南をするのは、協会理事長の横山さん。難しそうですが、小さな子どもたちも小さな手で上手になっっています。縄ないの一方で、柿むきの作業が進みます。使用する渋柿は、山陰のブランド柿である細長い西条柿。柿は縄にかかるとへたに枝をちよつと残してあります。一連の縄に間隔を空けて5個吊るしたら、熱湯に縄ごと入れ、10数えて殺菌。あとはセンター入り口にしつらえた足場（フレーム）に吊るします。すっかりボラセンの風物詩になっている立派な干し柿には常連のファンも多いのです。

昨年10月31日、11月1日の両日にわたって開催された干し柿作りには、いつものように「日曜科学クラブ」の子どもたちも参加しました。3、4年と連続して参加していると、縄ないの手さばきも堂に入ったものです。大人たちも時を忘れて熱中しています。別の部



「むずかしいけど、楽しい！」

屋で活動していたボーイスカウトのメンバーたちも飛び入り参加しました。縄ないは野外活動で大いに役に立ちそう。横山さんはいいます。「山の中で靴が壊れちゃったとする。その時、そばにある木のツルとかをなうやり方を知っていれば、なんとか歩くことはできるんです」。子どもたちと参加した日曜科学クラブの平林浩先生は、いつの間にか、余った藁で草履を編んでいらっしやいました。

（取材／編集委員 星野 弥生）

## ご相談ください

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアさんをお探しして紹介しています。

のかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター  
TEL 5712・5101

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも取り組んでいます。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木  
TEL 5712・5101  
takai@otagaisama.or.jp

## ボランティア求む

### インドネシア出身の姉弟と遊んでくれるボランティア募集

玉川地域に住むインドネシア出身のご家族が、3歳(女の子)と2歳(男の子)のおさんと遊んでくれるボランティアを探しています。お母さんが出産直後でなかなか動けないため、公園や家で一緒に遊んでくれるとうれしいです。おさんたちは日本語が話せます。お姉ちゃんはお絵かきが大好き、弟はちよっと人見知りですが、明るく元気いっぱい二人です。

●日時/平日の昼間、曜日、時間等は応相談  
●場所/自宅(上野毛)や近くの公園など  
●条件/子ども好きの人(子育て経験のある方、保育の勉強をしている方など)  
●問合せ/玉川ボランティアセンター  
TEL 3707・3528  
tanaborae@otagaisama.or.jp

### 登校付き添いスタッフ募集

4月から小学校5年生になる男の子の登校に付き添ってくださる方を探しています。男の子は、朝起きて気持ちを整えてから、学校へ行く日は少し遅い時間から登校します。今はお母さんが付き添っていますが、お母さんは4月から資格取得の勉強を始めるため、付き添いができません。本格的に付き添いをお願いしたいのは4月からですが、その前に、お互いに慣れるためにも、少しずつでも付き添いを開始していただけたら良いかなと思っています。子ども好

きで、ゆったりと接してくださる方をお願いしたいです。詳細はお問合せください。  
●日時/月々金 おおむね9時～10時に自宅を出発(週1回/可) 場所/自宅から小学校まで(徒歩5分)  
●交通/用賀駅徒歩5分  
●条件/交通費1回500円  
●問合せ/玉川ボランティアセンター  
TEL 3707・3528  
tanaborae@otagaisama.or.jp

## 東 コミ捨てをして下さる方募集

一人暮らしの高齢女性の方が、足腰の具合が悪く、可燃ごみを抱えて階段を降り、ごみ集積所までゴミ捨てに行くことが難しくなっています。月曜と木曜に家の前に置いてあるごみを、ごみ集積所まで代わりに捨てて下さる方を探しています。どちらかの曜日だけでも助かります。詳しくはお問合せください。

- 日時/毎週月・木曜日7時〜7時半までの間で
- 場所/池尻2丁目のご自宅前からごみ集積所まで
- 交通/池尻大橋駅7分
- 条件/できれば女性
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高居
- TEL 5712・5101  
takai@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 東小豆 ひとり親家庭のサポートをして下さる方募集!

世田谷区内のひとり親家庭にお伺いし子ども(保育園〜小学生)の遊び相手、宿題等の見守り、夕食づくりなどをしてくださる方を探しています。親御さんが多忙や不調で余裕がなかったり、お子さん自身がサポートを必要としているご家庭で、お子さん・親御さんともに安心して楽しく過ごせるよう、力を貸していただけたら幸いです。学生さんからシニアの方まで大歓迎です!

- お問い合わせ/POO法人日本子どもソーシャルワーク協会
- 担当 水野
- TEL 5727・2133  
http://www.jcsw.jp/

## 東 撮影スタッフ募集

小さなお子さんとお母さん対象のオンライン音楽YouTubeライブ配信事業に関して、ビデオスウィッチングによる動画のコントロールなど、1丁周りの簡単な操作をお願いできる方を募集いたします。また、この事業の他にも、従来事業(音楽療法事業)のSNS掲載用記録写真やVTR撮影をお手伝いいただけたら助かります。詳細はお問い合わせくださいませ。

- 日時/①月1〜2回(半年間)9時〜12時(オンライン配信事業)

- ②月1〜2回(1年間)13時〜18時の間の1〜2時間(記録写真等の撮影業務)
- 場所/当団体上馬5丁目音楽室
- 交通/駒沢大学駅徒歩12分、松陰神社前駅徒歩7分
- 条件/時給1020円+交通費支給。YouTubeなど動画配信の経験がある方
- 問合せ/NPO法人心のおしゃべり音楽工房 担当 中井
- TEL 3418・6912  
info@kokorotakmusic.or.jp  
https://kokorotakmusic.or.jp/

## 講座・その他・募集

### 東 もっと語ろう不登校 Part 253

これまで25年にわたって、さまざま方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時/2月6日(土)14時〜
- 場所/NPOフリースクール僕んち(代田4・32・17)またはZOOM会議にて
- 交通/梅ヶ丘駅徒歩10分
- 条件/事前申し込み制
- 問合せ/世田谷区子どものネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 高橋
- 090・3905・8124  
fshoru@yahoo.co.jp

## 講座・その他・募集

## 東 ヒューマンライブラリー入門講座+オンライン対話

ヒューマンライブラリー(H

ル)は、障がい者、LGBT、難病依存症、外国人など偏見や誤解を受けやすい人が「本」になり、少人数の一般読者の方に人生話を自己開示する対話イベントです。相互理解を深め偏見を低減するイベントとして、国内各地や世界中で実践されています。この講座は、HLについて詳しく知りたい方、開催してみたい方などを対象にした入門講座です。当日は、講座の後実際に当事者の方とオンラインでの対話を体験しても結構予定です。事前にメールで予約してください。

## 東 NPO・市民活動相談

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談や、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。

グループの運営に悩んでいる、助成金情報を知りたい、NPOって何? など、いろいろなご相談

さい。

- 日時/2月21日(日)14時~16時
- 場所/世田谷ボランティアセンター
- 交通/三軒茶屋駅徒歩12分
- 参加費/500円(資料代)
- 募集人数/3人まで
- 申込み/氏名、住所、連絡先を明記してメールでお申し込みください。(事前申込制)
- 問合せ/東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井 090-4751-6942 tsuho0912@gmail.com http://tokyo-humanlibrary.com

を受けています。すでに活動して

いる方も、これから何か始めたい方も、個人・団体問わず相談可能です。まずはお電話でお問合せください。(相談無料、事前予約制)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 大垣内  
TEL 5712-5101

## 小 代田ヒューロー

## 「近所カフェ」「ゆるゆる体操」参加者募集

寒い冬の日、動くのも億劫になりませんか? ゆるく体を動かして、体も頭も元気にしませんか。体操を教えてください方をお呼びして、椅子に座つての体操、椅子を使っての体操をします。

※事前申込制。

- 日時/2月20日(土)13時~16時
- 1回目 13時15分~13時45分
- 2回目 14時~14時半
- 3回目 14時45分~15時15分
- 場所/代田ボランティアビューロー 2階(階段のみ)

## 東 せたがやチャイルドライン講演会

## 『子どもの命を守るには』虐待事件を取材して

社会の変化に伴って、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。多くの事件を取材してこられた杉山春さんからお話を伺い、子どもを命を守るために、わたしたちは何ができるのか、参加者の皆さまと一緒に考えていく機会にしたいと思えます。

- 講師/杉山春(ルポライター)
- 日時/2月6日(土)14時から16時半
- 開催方法/①WEB会議ツール「ZOOM」を使用して実施
- ②世田谷ボランティアセンター会議室(ZOOM画面を映写)

●交通/世田谷代田駅すぐ

- 参加費/1000円
- 定員/10名
- 条件/マスク・靴下着用
- 申込み/電話またはメールで、メールの場合、件名に「ゆるゆる体操参加」とし、何回目に参加するか、氏名、住所、電話番号を明記して下さい。
- 問合せ/代田ボランティアビューロー  
TEL 3419-4545 daitabor@otagaisana.or.jp

●定員/①70名②15名

- 対象/子どもの問題に関心のある方、子育て中の方、学生
- 参加費/1000円
- 交通/三軒茶屋駅徒歩5分
- 申込み/電話、またはメールで。メールは件名に「特別講演会申込」、本文に氏名、電話番号を明記してご送信ください。
- 問合せ/せたがやチャイルドライン事務局 担当 樽井・青木  
TEL 5712-5101 childline@otagaisana.or.jp

## 東 サポートを求めている 子どもに寄り添うボランティア養成講座

どのお子さんにとっても、自分の力を十分に発揮できる環境で過ごすことが大切です。そのために私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

「ボランティア活動に関心はあったけど、今まできっかけがなかった」「上手に関われるか自信がない」という方でも大丈夫です。子どもと関わるときのポイント、発達障がい、知的障がいについて一から学べる講座です。ZOOM接続に不安のある方には、使い方のレクチャーもあります。

- 日時／①2月25日、②3月4日、③3月11日（木）13時半～15時半
- 場所／①は玉川ボランティアピア

### 東 バザー提供品受け取り一時休止のご案内

いつもバザー品のご提供にご協力いただき、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バザーを休止しております。そのため、バザーの物品提供の受付（持ち込み及び宅急便などの郵送）を当面の間、休止とさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願います。

## せたがや福祉区民学会第12回大会 「未来につなぐせたがや福祉のきずな」

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、世田谷区内の大学を会場に、大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、発表を通じて実践活動・研究を深め合っています。

第12回大会は、新型コロナウイルスと感染拡大防止対策のためウェブ開催とし、発表の要旨・動画と発表事例集を世田谷区福祉人材育成・研修センターホームページ上で公開します。

今大会では「学びあい、広げようせたがや福祉の輪『未来につなぐ』せたがや福祉のきずな」をテーマに国際医療福祉大学大学院教授の大熊由紀子氏の基調講演

### ボランティア保険 新年度料金改定のお知らせ

2021年度のボランティア保険について一部改定となりますので、お知らせいたします。次年度（4月以降適用分）の加入手続きの際はご注意ください。

- 変更内容／
  - ①Aプラン（基本コース）の保険料の引き上げ
- 【現行】 3000円
- 【変更後】 3500円

のほか、世田谷区の福祉実践活動について「新しい生活様式における取組み」や「多様性を認め合う共生社会づくり」など7テーマ48本の発表を公開します。詳細はホームページをご覧ください。

- 公開期間／1月15日（金）～2月15日（月）
- 公開場所／世田谷区福祉人材育成・研修センターせたがや福祉区民学会ホームページ
- 問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村木

- TEL 6379・4280
- E-mail: [tmuraki@setagayajoi.jp](mailto:tmuraki@setagayajoi.jp)
- URL: <https://www.setagaya-jinzai.jp/>

②基本コースAプラン以外の補償金額変更  
※詳細はお問合せください。  
※新型コロナウイルスの補償については、2021年も引き続き補償可能となります。

- 問合せ／世田谷ボランティア協会
- TEL 5712・5101

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

### ●いのちを大切にするとこ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにともなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

ボランティアセンターは、2/7まで閉館時間が通常の21時から20時までとなっています。ご来館の際はどうぞご注意ください。

### ◆ふらっと& withより

コロナ禍のなか季節をゆっくりと楽しむことが出来ないまま、気づけば春はもうそこまで来ていました。暖かくなるころを心待ちにしながら、もう少し冬の街中を楽しみたいと思います。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### ◆チャイルドラインより

2/6にルポライターの杉山春さんの講演会をオンラインで開催します。関心のある方はぜひご参加ください! 詳しくはP.10をご覧ください。

### 編集後記

- 今年の節分は2月2日で124年ぶりというニュースを見てびっくりしました。立春の前日が節分の日で、普段は2月3日ですが、ここでは文字数の関係で説明するのが難しいので、ぜひインターネットで調べてみてください。なるほどと思わず声が出ちゃいました。
- 2月は梅の季節ですね。世田谷の梅の名所は羽根木公園ですが、今年の梅の祭りは中止になってしまったので、近所に咲く梅をみて楽しむと思います。(こ)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博

